

航空自衛隊 十条基地 様

コミュニケーションで進化するモデルオフィス

令和 8 年度

オフィス改革

窓口改善

新庁舎

Topics

令和 8 年 4 月現在



上下昇降デスク

上下昇降デスクを採用し、長時間の執務による身体的負担を軽減するとともに、集中力の維持と業務効率の向上を図る。



執務スペース

在宅勤務とフリーアドレスを取り入れ、職位を越えた対話や情報共有を促進するベースエリア。



2人用ワークブース

横並びのレイアウトにより圧迫感を抑え、面談や1on1ミーティングに最適な遮音性を備えた2人用ブース。

プロジェクトの詳細

改修完了 : 令和8年3月31日
対象部署 : 補給本部計画部企画課
後方基盤事業推進室

対象面積 : 128㎡



オカムラHPでも
ご覧いただけます

航空自衛隊では、変化する業務環境や多様化する働き方への対応を見据え、業務効率の向上とコミュニケーションの活性化、そして働きやすい職場づくりを目的に、全国の基地に先駆けて十条基地にモデルオフィスを整備しました。

従来の固定的な執務レイアウトにとらわれず、役職や部門の垣根を越えて自然なコミュニケーションが生まれるオフィスを構築。情報共有や意思決定の迅速化、新たなアイデアの創出を促すとともに、組織の一体感の醸成にもつなげています。また、心身への負担軽減や人と人とのつながりにも配慮した空間設計により、ウェルビーイングを高める執務環境の実現にも考慮しました。

執務エリアには、業務内容に応じて最適な場所を選んで働くABW(Activity Based Working)の考え方を取り入れています。上下昇降デスクをはじめ、ソファ席やリフレクシュスペース、ワークブースなど多様なワークポイントを配置し、「集中」と「コミュニケーション」を状況に応じて切り替えられる働き方を支援しています。

また、テレワークを行うことを前提としたオフィス設計とすることで、場所を問わず円滑なコミュニケーションを実現し、業務効率の向上につなげています。



2人用ワークブース

前面に目隠しフィルムを施工し、セキュリティ性を向上。機密情報を扱う職員も安心して利用できる環境を実現。



グループテーブル

打ち合わせから個人作業まで幅広く活用できるワークテーブル。円滑な情報共有と集中して取り組むための環境を両立。



ラウンド型テーブル

特徴的な形状のラウンドテーブルは、座る位置によって相手との距離を調整でき、カジュアルで自然なコミュニケーションを促進。



打合せ・リフレッシュスペース

カフェスタイルを取り入れた多目的スペース。幅広いシーンで活用でき、コミュニケーションの活性化とリフレッシュの両立を実現。



ファミレスブース

モニター整備で効率的な打ち合わせに対応。休憩時にも利用され、立場を越えた自然なコミュニケーションを促進。



片面ソファ席

背面からモニターが見られず、安心して話しかけやすい横並びのソファ席。足元に電源を整備することで、利便性と実用性も向上。



モバイルロッカー

ワゴンレスの運用対応のため個人ロッカーを整備。扉面には隊員の個性が表れる工夫が施され、コミュニケーションのきっかけに。